JA静岡経済連

経済連情報 8

安全・安心・新鮮でおいしい
静岡県産の農畜産物をお届けします。

● 2023. 8
● NO.1307

県内未利用資源を活用した肥料の実用化に向けた取組について

▲JA農業機械大展示会

▲メイントピックス:コスト低減肥料の開発と商品化

Main topics
県内未利用資源を活用した肥料の実用化に向けた取組について ……01

topics&news
品質改善・安定生産のために
第47回静岡県桃果実品評会 ……03
提案力の向上へ
JAタウン講習会を開催 ……03
子会社管理徹底のため
第1回子会社等経営会議 ……03
静岡いちごの栽培技術の研究と振興
令和5年度静岡県いちご生産者研究大会 …04
明日への期待を担う
新入職員本採用フォローアップ研修会 ……04
競争力の強化を
令和5年度静岡県農協葬祭事業連絡協議会総会および第1回静岡県農協葬祭事業連絡協議会 ……05
4年ぶりの開催
JA農業機械大展示会 ……05

お知らせ
あぐりんく静岡からのお知らせ ……06
JA静岡経済連公式SNSのご紹介 ……06

最新研究紹介
酒米「令和誉富士」の育成と栽培方法……07

お知らせ
テレビ番組「しずおかごはんが食べたい!」のご紹介 …09
JAタウン しずおか「手しお屋」おすすめ商品のご紹介 …09
職員紹介……10

main topics
メイントピックス

県内未利用資源を活用した肥料の実用化に向けた取組について

Ⅰ はじめに

本会は、「ＪＡ静岡経済連２か年計画」の基本目標として、「コスト低減と農作業の効率化」に取り組んでいます。昨今、肥料を巡る情勢は大きく変化し、肥料価格の高騰により、安定供給が脅かされる事態が懸念されることから、「安定供給ができる未利用資源を原料としたエコ肥料の発掘と実用化」、「地域横断的な配合肥料の提案と堆肥を使用した混合肥料の開発・普及」を基本目標の戦略に定めています。

今回のメイントピックスでは、営農活動の継続に不可欠な肥料の安定供給の維持と未利用資源を活用した取り組みについてご紹介します。

Ⅱ 肥料情勢

1. 肥料価格の高騰

我が国の化学肥料（高度化成肥料）は、製造コストの６割以上を原材料費が占めています。原料の多くを輸入に頼っていることから、肥料価格は、国際価格の影響を大きく受けます。（図１）

近年、ロシアのウクライナ侵攻や中国の実質的な輸出規制等の国際情勢に伴い、肥料価格は高騰しました。

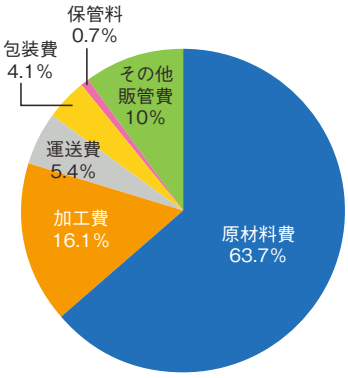

図1. 化学肥料のコスト構造
出典：肥料をめぐる情勢（農林水産省）

2. 肥料関連法の改正

令和２年12月１日より施行された肥料の品質確保等に関する法律では、肥料の配合に関する規制の見直しが行われ、普通肥料と特殊肥料の混合や肥料と土壌改良資材の混合が指定混合肥料として可能になりました。これまでの制度では認められていなかった「堆肥」と「化学肥料」の混合も法改正によって可能となり、堆肥の利用拡大による土づくりの促進や施肥の省力化が期待されます。

Ⅲ 未利用資源を活用した本会の取組

昨今の情勢を踏まえ、本会では、肥料の安定供給維持のため、未利用資源やＳＤＧｓの観点に沿った肥料の活用に積極的に取り組んでいます。

1. ごみ焼却由来のケイ酸質肥料

本会は、ＳＤＧｓの理念に沿った

▲砂状の粒形が特徴の溶融スラグ肥料

▲試験栽培で収穫された桜島大根

肥料として、静岡市の西ヶ谷清掃工場で発生した廃棄物「溶融スラグ」を原料とした熔性ケイ酸質肥料「SKケイカル」を静岡市、静岡大学、日鉄エンジニアリング㈱と共同で開発し、流通を開始しました。一般ごみ焼却場由来の溶融スラグを使用した肥料の製品化は国内初の取組みです。

同肥料は、可溶性ケイ酸25%、アルカリ分30%、く溶性苦土1%を含み、水稲において茎が太く丈夫になる効果が確認されるなど、収穫量の増加が期待されています。

また、令和3年度には、浜松市で同肥料を使用した酒米の栽培を行い、同市の「花の舞酒造㈱」が清酒を商品化しました。昨年度には、浜松市の中田島砂丘で、同肥料ともみ殻くん炭、牛ふん堆肥で土づくりをした桜島大根の栽培試験が行われ、生育の改善が報告されるなど、「SKケイカル」の実用化が進んでいます。

▲「鶏放題めぐる君」はペレット状で機械施肥にも対応している

▲展示会で「鶏放題めぐる君」をPRする職員ら

2. 堆肥入り肥料の開発

本会は、朝日アグリア㈱と共同し、「鶏放題めぐる君」を開発、今年5月に流通を開始しました。同肥料は、肥料法の改正により、指定混合肥料として堆肥を原料とした肥料の生産が可能になったことを受け、富士宮市の富士たまご㈱で生産する鶏ふん堆肥を使用し、朝日アグリア㈱と本会が試作を重ね製品化しました。地域資源を積極活用し、SDGsにおける持続可能な消費・生産の実現とみどりの食料システム戦略における化学肥料30%低減の目標達成に向け取り組みます。また、高騰が続く肥料価格の低減も狙いとなっています。

現在、県内JAで同肥料を使用した栽培試験に取り組んでいます。

Ⅳ 普及拡大に向けて

1. SKケイカル普及に向けた取組

本会は、生産資材コスト低減による農家所得向上を目的に、「SKケイカル」を「地域一番価格」を目指す銘柄に位置づけ、普及を進めています。平成29年には、農林水産省の肥料に仮登録、昨年6月に本登録されました。

また、静岡大学が実施した、溶融スラグを土壌に混合した茶樹の栽培試験では、生育促進、窒素吸収効率の向上等の効果が確認されました。本会は、この研究成果を受け、配合肥料の原料として利用提案をしています。

2. 農業機械大展示会でのPR

7月に吉田町で開催された「令和5年度JA農業機械大展示会」(本誌5ページ掲載)にて本会肥料農薬課がブースを出展し、「SKケイカル」、「鶏放題めぐる君」の認知度向上と普及拡大に向けPRしました。ブースでは、本会職員と朝日アグリアの担当者らが来場した組合員に同肥料の説明をしました。

Ⅴ おわりに

今回のメイントピックスでは、未利用資源を活用した肥料の実用化に向けた取組について紹介しました。本会では、肥料価格高騰に対するコスト削減に取り組みつつ、安定して組合員の皆さんへ肥料を供給するため、新たな肥料の開発と普及に取り組んでまいります。

問い合わせ先
●生産資材部　肥料農薬課
電話：054－284－9723

品質改善・安定生産のために

第47回静岡県桃果実品評会

6月12日、静岡県落葉果樹振興協会（事務局・柑橘果樹課）と本会は、静岡市駿河区のJA静岡市本店で、「第47回静岡県桃果実品評会」を開きました。

品評会にはJA静岡市とJAハイナンから「日川白鳳」、「暁星」、「はなよめ」、「さくひめ」の4品種25点の出品があり、静岡県や静岡市の職員と本会職員ら計7人の審査員により、形状や色つやなどの外観と、食感や味などを試食や糖度計を使って審査しました。審査長を務めた静岡県農林技術研究所果樹研究センターの松浦英之センター長は「今年は梅雨入りが早く、せん孔細菌病などの病害虫には気の抜けない栽培環境が続いたが、外観・内容ともに良好な桃が出品された。生産者の努力と優れた技術に敬意を表したい」と講評しました。上位入賞者は次のとおり（敬称略・カッコはJA名）。

▲金賞を獲得した梅木さんの桃

金賞
静岡県経済産業部長賞
静岡市長賞
梅木　幹子（静岡市）

銀賞1
静岡県農林技術研究所果樹研究センター長賞
静岡県経済農業協同組合連合会代表理事理事長賞
永嶋　雄大（静岡市）

銀賞2
静岡県京浜地区果実流通協議会会長賞
田形　惇子（静岡市）

銀賞3
静岡市農業協同組合代表理事組合長賞
芝原　俊晴（静岡市）
杉本　文彦（静岡市）
松本かな子（ハイナン）
岡田　和明（静岡市）
杉山佳世子（静岡市）
杉山　真美（静岡市）

▲審査のようす

提案力の向上へ

JAタウン講習会を開催

6月8日、流通開発課は、JA遠州夢咲総合販売推進課と合同で、JA全農が運営する産地直送通販サイト「JAタウン」の講習会を菊川市の夢咲青果物流通センターで開催しました。

営農部門を担当する職員の商品提案力の向上が目的で、同JA職員ら約20人が参加しました。

流通開発課の中瀬諒亮係長が講師を務め、「JAタウン」の概要や本会ショップ「しずおか手しお屋」の取り組み、商品発掘のヒントなどを説明しました。JA遠州夢咲の桑野尭秀主任は、「ブランド力アップにつながるツールとしてJAタウンを活用し、農家の所得向上につなげたい。」と話しました。

▲講習会のようす

子会社管理徹底のため

第1回子会社等経営会議

6月26日、企画管理部は、静岡市葵区の中島屋グランドホテルで、「第1回子会社等経営会議」を開き、関係8社（静岡ローディング㈱、静岡県車輌サービス㈱、静岡県フィッシュミール㈱、ジェイエイ静岡燃料サービス㈱、浜松食肉加工㈱、㈱静岡県農協電算センター、㈱農協葬祭、㈱静経ライス）ら20人が出席しました。

会議では本会から令和4年度決算や収支改善に向けた取り組みなどの報告を行った後、各社から令和4年度決算報告、令和5年度の経営状況の報告、コンプライアンスプログラムの計画と取り組み結果について説明がありました。本会の報告事項では、2か年計画の取り組みと令和5年度の事業計画について説明を行いました。

静岡いちごの栽培技術の研究と振興
令和5年度静岡県いちご生産者研究大会

静岡県野菜振興協会、静岡県農協営農技術員会、本会（事務局：野菜花卉課）の3者は、7月6日、静岡市駿河区のグランシップ中ホールで「令和5年度静岡県いちご生産者研究大会」を開き、静岡いちごの生産者とJA職員ら約280人が参加しました。

大会では、昨年12月に開催した「第33回静岡県いちご果実品評会」の表彰式を執り行い、上位入賞者へ賞状を授与しました。

情勢報告では、東京青果株式会社の大野季嗣氏が静岡いちごの流通について「静岡いちごは、協調出荷によって様々なニーズに応えることができ、顧客からは味や品質ともに高い評価を得ている。」と評価しました。

また、栽培技術の向上を目的に、静岡県農林技術研究所と本会コンサルタントから3人が講演を行った他、本会担当者より静岡いちごの消費宣伝事業について報告を行いました。

講演では、肥料農薬課の村上薫コンサルタントより、「天敵使用時の環境」をテーマに、いちごの病害虫、アザミウマ類を捕食する天敵昆虫を使用したイチゴ栽培の結果を報告し、天敵昆虫が好む比較的高い湿度を維持しつつ、急激な湿度・温度変化を抑えることの重要性を訴えました。また、極端に高い湿度は病害が多発する原因になると注意を促しました。野菜花卉課の渥美忠行コンサルタントからは、「予防防除と湿度管理」をテーマに、湿度管理が生育や病害虫の発生軽減、天敵の定着に影響することを報告しました。また、「はかる蔵」を使用したハウス内環境モニタリングを紹介し、環境モニタリング装置の導入を呼びかけました。

消費宣伝事業の報告では、野菜花卉課の藤浪利彰職員より、本県出身のタレント・モデルの池田美優（みちょぱ）さんを起用し、SNSでのPRに力を入れた他、テレビやラジオ番組でのパブリシティや静岡いちご娘によるPR活動を実施したことが報告されました。

▲表彰を受ける金賞受賞者

▲石川和弘理事長より表彰を受ける入賞者

▲講演する村上コンサルタント

▲消費宣伝事業報告で挨拶する静岡いちご娘

明日への期待を担う
新入職員本採用フォローアップ研修会

7月3日、人事教育課は、県農業会館で、7月1日付で本採用となった令和5年度の新入職員を対象にフォローアップ研修会を開きました。

研修では、石川和弘代表理事理事長と総務部の野田和宏部長が講話し、新入職員を激励しました。

また、同課の橋本宏生課長が新入職員の質問や疑問について回答した他、ジョブコーチ制度の実施状況や事業継続計画（BCP）などについての研修を行いました。

新入職員からは、入会から3か月を経過しての業務の取り組みや近況を報告し、それぞれ決意表明をしました。

▲新入職員に講話を行う石川理事長

競争力の強化を

令和5年度静岡県農協葬祭事業連絡協議会総会および第1回静岡県農協葬祭事業連絡協議会

6月16日、静岡県農協葬祭事業連絡協議会（事務局・生活葬祭課）は、静岡市内で「令和5年度静岡県農協葬祭事業連絡協議会総会」と「第1回静岡県農協葬祭事業連絡協議会」を開き、会員JAとJA子会社の担当者ら21人が出席しました。活動計画の協議や情報交換などによる県下農協葬祭事業の活性化と事業基盤の強化を図ることが目的。

総会では、令和4年度事業報告と収支決算、令和5年度事業計画と予算などについて協議し承認を得ました。総会終了後には第1回協議会が開かれ、各会員から近況と実績が報告されました。協議事項では、令和5年度活動計画や県下統一広報活動、クリンリネスコンテストなどについて協議しました。また、報告事項では、静岡県内における葬祭事業のあゆみとして、各JA葬祭部の経過を報告した他、斎場の設置状況などを確認し、情報共有しました。

会員JA・JA子会社		
JAふじ伊豆	㈱ジェイエイ・メモリアルセンター	㈱農協葬祭
JAしみず	㈱JA静岡市やすらぎセンター	㈱ジェイエイ大井川葬祭サービス
JAハイナン	JA掛川市	JA遠州夢咲
㈱ジェイエイ遠中サービス	JAとぴあ浜松	JAみっかび

4年ぶりの開催

JA農業機械大展示会

7月7日と8日の2日間、県下JAと本会（農業機械課）は、吉田町の吉田公園西側特設会場で「令和5年度JA農業機械大展示会」を開き、組合員ら約5000人が来場しました。

大展示会は、農家組合員のトータルコスト低減と安全で便利な農業機械の提案が目的。今年度は4年ぶりの開催となり、農機メーカー20社以上が出展しました。トラクターや乗用茶摘機などの大型農機、家庭菜園用の小型耕うん機など、安心・安全で便利な農業機械を展示、販売しました。

特設ブースで行われたドローン、無線操縦型草刈機の実演体験会では、各メーカーより、ICT技術を搭載した最新のスマート農機を提案し、労力軽減をPRしました。

開会式で挨拶した本会河原崎友二経営管理委員会会長は、「農業の生産性の向上には農業機械の普及が欠かせない、展示会が静岡県農業の更なる振興と発展の一助になれば幸い」と話しました。

▲組合員らで賑わう展示会場

▲肥料農薬課展示ブース

▲展示・販売されたトラクター

【 営農ナビ 】 文字が大きく見やすくなってリニューアルしました！

あぐりんく静岡からのお知らせ

県内JA限定

生産・事業推進に役立つ情報が満載!!

農産物安全分析センター

分析メニュー、申込書、分析フロー（手順）を掲載しています。分析の際はコチラから！

経済連肥薬通信

更新 **経済連肥薬通信8月号**
経済連コンサルタントによる技術情報

気象情報

長期予報（1か月予報、3か月予報）の他、これからシーズンを迎える台風についても、進路情報等を随時掲載しています。

販売情報

東京、名古屋、大阪の青果・花卉の概況を掲載しています。

●イントラから利用できます。

～他にも、農畜産物別の情報なども充実～

担当：営農総合対策部 生産振興開発課（TEL 054-284-9729）

JA静岡経済連公式SNSのご紹介

本会では、県産農畜産物の魅力や最新の産地状況や情報をお知らせするため、SNSを開設しています。令和４年10月からは新たに野菜花卉課が「静岡やさい」インスタグラムアカウントを開設し、フォロワー数は9,500人を突破！（令和５年７月現在）本県農産物の最新生育情報やおすすめレシピなどを紹介しています。

公式Instagram、Twitter一覧

Instagram

shizuoka_yasai
JA 静岡経済連
「静岡やさい」【公式】

旬の「静岡やさい」の魅力を発信します！

SHIZUOKA_YASAI

Instagram

shizuoka.flowers
JA静岡経済連
「静岡の花」【公式】

自慢の「静岡の花」の魅力を発信します！

SHIZUOKA.FLOWERS

Instagram

shizuoka_keizairen
JA静岡経済連【公式】

主にネット通販サイト「JAタウン しずおか『手しお屋』」の情報を発信します！

@SHIZUOKA_KEIZAIREN

X(Twitter)

@JAtown_teshioya
JA静岡経済連・JAタウン しずおか手しお屋【公式】

最新研究紹介

農林技術研究所だより

酒米「令和誉富士」の育成と栽培方法

静岡県農林技術研究所
水田農業生産技術科
上席研究員
山下　達也

一 はじめに

静岡県に新しい酒米が生まれました。その名も「令和誉富士」。米の旨味が感じられるまろやかさと、高い香りを持つ、静岡県を代表するにふさわしい酒米です。

右：山田錦
中：令和誉富士
左：誉富士

図１　令和誉富士の草姿

二 「誉富士」の課題

酒米「誉富士」は、当研究所で育成した酒米で、平成21年3月に品種登録されました。「誉富士」は、その酒質の良さから県内酒造業者に幅広く使用されましたが、収量性が低く、穂発芽し易いことが課題になっていました。

そこで当研究所で、「誉富士」の酒質の良さを保ちつつ、これらの栽培上の欠点を改善した新品種の育成に取り組みました。

三 新品種「令和誉富士」の誕生

「令和誉富士」は、山田錦γ線照射突然変異系統のＹＭ３１０（「誉富士」の兄弟系統）を父に、愛知県の育成品種「夢吟香（ゆめぎんが）」を母とし、平成20年8月に当研究所において交配した後代から育成しました。（図1、2）

平成20～21年にＦ１を温室内で養成、平成21年にＦ２採種を行い、平成22年～23年に集団採種によりＦ３～Ｆ４の世代で遺伝的な固定を進めました。平成24年にＦ５世代で個体選抜を、平成25年に系統選抜を行い、以後、系統育種法により選抜と遺伝的純度の固定を行いました。平成26年Ｆ７世代から「Ｓ１０１０－１」の系統番号で系統生産力検定試験に、平成27年Ｆ８世代から奨励品種決定試験予備調査に供試し、平成29年Ｆ10世代からは「静系（酒）97号」の系統名で奨励品種決定試験本調査に編入して優れた特性を示したことから、令和４年1月に品種登録出願し、同3月に奨励品種に採用されました。

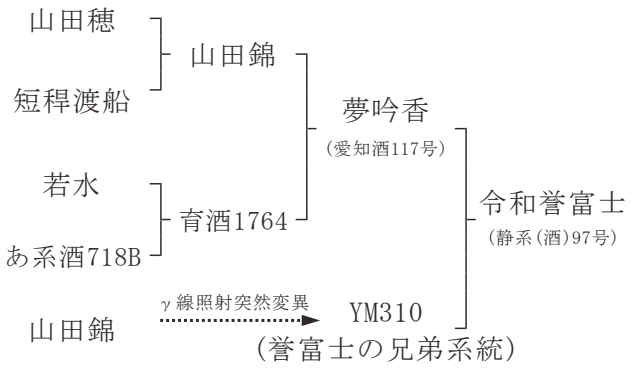

図２　「令和誉富士」の系譜

四 品種の特性

「令和誉富士」は「誉富士」と同様の晩生熟期です。

平坦地では、6月1日前後の移植で、8月25日ごろに出穂し、10月3日ごろ成熟期になります。

稈長は「誉富士」より14㎝程度長いですが、稈質が固くやや太いため、倒伏にはやや強く、穂発芽性は「誉富士」より優れる「やや難」です。（図3）

玄米は粒に厚みがあるためくず米が少なく、単収は４５８kgと、「誉富士」より1割以上多く収穫できます。（図4、図5）

また、玄米の外観品質は光沢が優れるため「誉富士」より優れます。（図6）

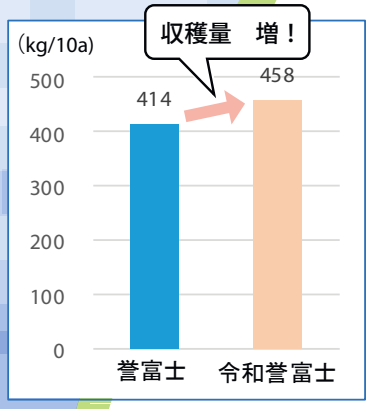

図５　単収

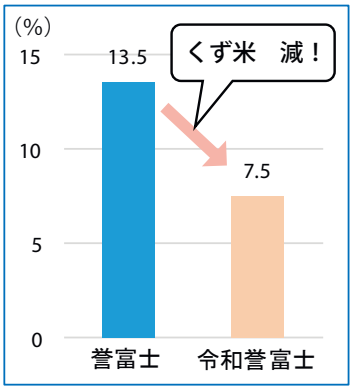

図４　くず米の割合

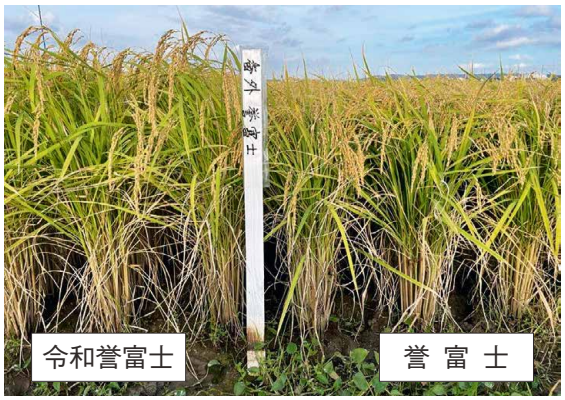

図３　ほ場での草姿

図６　籾と玄米

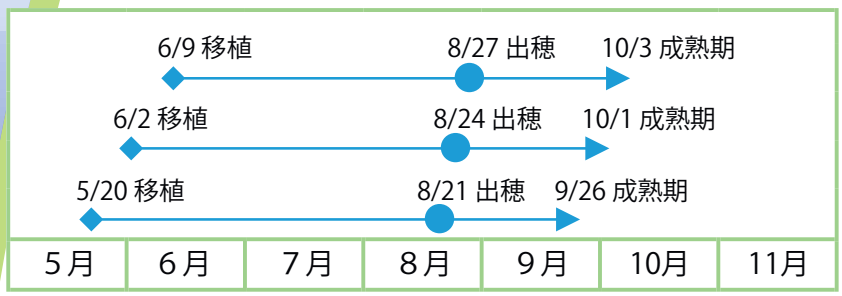

図７　「令和誉富士」の移植日と成熟期（令和４年産　磐田市）

五 栽培方法

（一）移植時期

「令和誉富士」の移植適期は５月下旬から６月上旬です。

その時期以外に移植すると、玄米外観品質の低下や玄米タンパク質含量の増加が懸念されます。

なお、移植時期ごとの出穂期と成熟期は図７のとおりです。

（二）施肥法

適正な施肥量は窒素成分で10アール当たり6.5から8.5kgです。なお、側条施肥であればこれから２割、緩効性肥料であればさらに１割施肥量を削減できます。

施肥法は、基肥一発肥料による省力化が可能です。中晩生用の「速効性窒素が40パーセント、緩効性窒素が60パーセント」のタイプが好ましく、早生用のタイプでは登熟後半に肥効切れを起こす可能性があり、緩効性成分が晩生用の１２０日のタイプでは玄米タンパク質含量が高まるおそれがあります。

（三）収穫時期

「令和誉富士」の収穫適期は帯緑籾歩合（未成熟の籾の割合）が約10パーセントの時期です。その目安は出穂後35日から45日（積算温度９３０～１１５０℃）程度で、それ以降は玄米外観品質が低下します。

帯緑籾歩合が半減するのに要する日数は、８月から９月中旬の高温時期は５日程度、９月下旬以降の気温では７日程度を目安にしてください。帯緑籾歩合が７パーセントを下回ると穂発芽の危険性が高まります。

六 おわりに

「令和誉富士」は、「誉富士」の醸造適性の高さを引き継ぎつつ、収量性と耐穂発芽性を改善した大変有望な品種です。

本品種から醸造された清酒は酒質も良好で独自性があり、静岡県オリジナルの魅力的な特産品としての活用が期待できます。

今回紹介した栽培法等を踏まえ、ＪＡ静岡経済連及び静岡県米麦協会と協力して栽培暦を作成したので、ご覧になりたい方は各ＪＡまでお問い合わせください。

連絡先
磐田市富丘６７８－１
静岡県農林技術研究所
水田農業生産技術科
Mail：agrisuiden@pref.shizuoka.lg.jp
ＴＥＬ：０５３８－３３－６６７８

テレビ番組

「しずおかごはんが食べたい！」（テレビ静岡）

担当：食糧部 食糧課（TEL:054-284-9737）

静岡県産米麦流通連絡協議会（事務局：食糧部）は、テレビ番組「しずおかごはんが食べたい！」（テレビ静岡・全11回放送）に協賛し、県産米のPRを行っています。

令和５年度の第３回目（７月15日）の放送では、タレントの村上佳菜子さんが御殿場市から「このはなの恵み」を紹介しました。「このはなの恵み」は、御殿場市・小山町で栽培されるブランド米で、化学合成農薬や化学肥料を基準値の５割減で栽培することや、種子更新100%で生産されたコシヒカリであることなど８つの厳密な項目をクリアしたお米だけを厳選しています。

次回の「しずおかごはんが食べたい！」は富士市と富士宮市からモグライダーが紹介予定です。放送日は８月19日（土）の夕方５時となりますので、ぜひご覧ください！

JAタウン しずおか「手しお屋」おすすめ商品のご紹介

今月のおすすめ商品をご紹介します！

三ヶ日みかん凍らせてシャーベット 6個入り（JAみっかび）

三ヶ日みかん（みっかびみかん）は、静岡県浜松市北区三ヶ日地区周辺で生産される温州みかんのブランド。
みかんの果汁と果肉を贅沢に使用し、三ヶ日みかんの濃厚な味わいを楽しめる暑い夏にぴったりなシャーベットです。常温でのお届けとなりますので、ご家庭で凍らせてお召し上がりください。
８月末までの期間限定商品のため、在庫がなくなり次第終了となります！

６個入り　2,500円（税込、配送料込み）

おいしい日本と暮らそう JAタウン

しずおか手しお屋　検索

※販売価格や販売時期は変更する場合があります。

◀商品ページはこちらから

担当：営業部 流通開発課
（TEL:054-284-9728）

職員紹介

JAや取引先の皆様に推進などでおじゃまさせていただいている本会職員を紹介します。

趣味・特技

趣味は、温泉・サウナに行くことです。温泉に入ることで、日々の疲れ、ストレスを発散しています。数多くの温泉に行ったのですが、個人的に最も良かった温泉は神奈川県の「ゆいる」です。

担当業務

主に、花卉の業務を担当しています。販売においては、実績の管理、時期に応じた生産出荷情報の報告などを行っています。購買においては、段ボールや袋資材などの花卉出荷資材の推進を行っています。

コメント

お花は１つの品目でも多くの品種があり、とても奥が深いものだと日々感じています。まだまだ分からないことばかりですが、様々なことに対して注視・意識をして積極的に取り組んでいきたいです。

東部事業所
東部みかん園芸課
橋本　奈生己

西部支所
西部みかん園芸課
宮﨑　真樹生

趣味・特技

旅行に行くのが好きです。国内外問わず色々な場所に行きました。今年の２月には、卒業旅行でヨーロッパ３か国に行き、サッカー観戦や現地のバー、世界遺産観光などをしてきました。

担当業務

西部地区の花に関する業務を行っています。圃場にて生育調査や生産者間での会議参加時の情勢報告、産地情報の発信など多くのことを経験させていただいています。

コメント

花の品目も多く、まだ実物を見れていない品目もあり、毎日が勉強です。自分の中で花を見るべきポイントや会議で求められる各品目・全体の実績等の数字の根拠まで説明できるように頑張っていきます。よろしくお願いします。

JA静岡経済連
KEIZAIREN情報
毎月1回発行　編集発行／企画　管理課 〒422-8620　静岡県経済農業協同組合　連合会　静岡県静岡市駿河区曲金3丁目8番1号
TEL.054(284)9708　FAX.054(284)9780　http://jashizuoka-keizairen.net　E-Mail:keizairen@kei.ja-shizuoka.or.jp

ＪＡ静岡経済連直営店
駿府の肉処 静岡そだち

電話予約
問い合せ 054-251-4129

静岡市葵区追手町２-１５
ＭＲＫ追手町２階（１階セブンイレブン）

●営業時間
ランチ　11:30～14:00（L.O.13:30）
ディナー17:00～22:00（L.O.21:00）

●定休日
第３月曜日 ※祝日の場合は翌日

※営業時間・店休日は変更する場合がございます。
ご来店の前にＨＰまたはお電話でご確認ください。

～特選和牛静岡そだち～

ＪＡ静岡経済連が認定する指定農場で、数々のこだわりをもって育てた牛肉です。

静々動々

県産食材・地産地消にこだわり
「静々動々」と御用意いたしました。
食で感じる静岡をどうぞお楽しみください。

担当：営業部　流通開発課（TEL：054-284-9728）